



前 進

校 長 五十嵐 圭一

「おはようございます」、子どもたちの元気な挨拶とともに学校が再開しました。部活動も段階的にはありますが再開されるなど、一見、通常通りの中学校生活が戻りつつあります。しかし、コロナ以前と全く同じというわけにはいかず、マスク着用、検温、アルコール消毒、そしてソーシャル・ディスタンスの確保など、いわゆる「新しい生活様式」の中での制限された学校生活となっています。新型コロナウイルスの収束を願い、一步一步、前を向いて進んでいきたいと思ひます。

さて、先日、「日本の富岳（ふがく）が、スパコン世界ランキング1位」というニュースが報道されました。これは、日本の企業が開発したスーパーコンピュータ「富岳」が、計算速度を競う最新の世界ランキングで1位になったというものです。その報道によれば、コンピュータの性能を評価する4部門全てで1位を獲得、日本のスーパーコンピュータが世界1位となるのは「京（けい）」以来8年半ぶりなど、まさに快挙といえそうです。その性能はというと、「スマートフォン換算で2000万台分に匹敵」「富岳が2～3台あれば、日本のITをすべてカバーできる計算パワーを持っている」というもので、凄まじい性能をもったまさにスーパーなコンピュータであり、日本の技術力の高さ、ものづくりの強さを改めて世界に示したかたちになりました。



興味深いのは、「富岳」が、新型コロナウイルスを克服するための取組も進めているという点です。具体的には、新型コロナウイルスの性質の解明や治療薬となりえる物質の探索、治療方法の向上についての研究などに取り組むとのこと。さらに、国は、山中伸弥教授らによる専門家会議を立ち上げ、これまでの新型コロナウイルス感染拡大防止策の効果を分析するとのこと。日本の科学技術の力で、新型コロナウイルスが収束に向かうことを大いに期待したいと思ひます。

夏休みまで、1か月あまりとなりました。先日、「令和2年度7月以降の日程等について」でお知らせしましたように、今後の日程等は、臨時休業等に伴い例年とは大きく異なります。現時点での予定を裏面に掲載いたしましたのでご覧ください。引き続き、保護者、地域の皆様には、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。